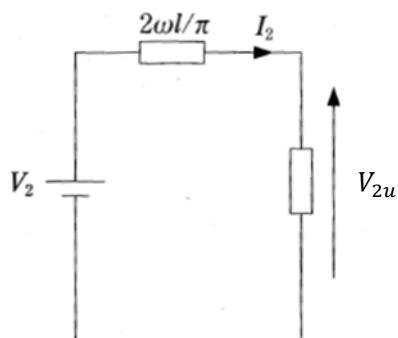
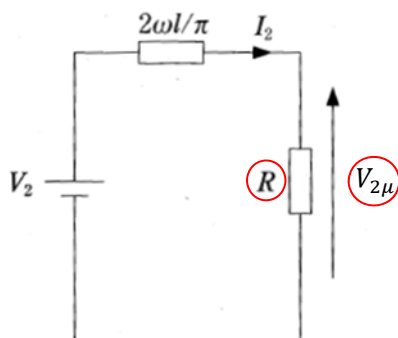


頁	箇所	誤	正
22	下から 4行目	巻数比を大きくすれば	図 2.19 で N_2/N_1 を大きくすれば
22	下から 1行目	巻数比 N_1/N_2 を大きくとると	式 (2.16)、式 (2.18) で述べたとおり、巻数比 N_1/N_2 を大きくとると
37	17行目	⑭ I_1 から…の位置に $r_1 I_1$,	⑭ I_1 から…の位置に $jx_1 I_1$,
39	1行目	百分率%で	百分率で
39	式 (3.21)	$\frac{Z_S}{Z_0} = \frac{\sqrt{R^2 + X^2} I_{1N}}{V_{1N}} = \frac{V_S}{V_{1N}}$	$\%Z = \frac{Z_S}{Z_0} \times 100 = \frac{\sqrt{R^2 + X^2} I_{1N}}{V_{1N}} \times 100$ $= \frac{V_S}{V_{1N}} \times 100$
39	4行目	絡インピーダンスは単位法で表したインピーダンス電圧に等しい.	絡インピーダンスはインピーダンス電圧と定格一次電圧の比の百分率に等しい.
40	10行目	以下では, 図 3.8 に	図 3.8 に
65	式(4.6)	$e = \int_{-0}^{\lambda_1} i d \quad e = \int_0^{\phi_1} id(N\phi) = \int_0^{\lambda_1} id\lambda$	$W_e = \int_{t=0}^{t=t_1} dW_e = \int_0^{\phi_1} id(N\phi) = \int_0^{\lambda_1} id\lambda$
85	下から 3行目	発生トルクが	発生トルク τ が
86	(5.14) 左辺	$f =$	$\tau =$
87	2行目 (1)左辺	$f =$	$\tau =$
87	4, 5, 8 行目	f を τ に変更	f を τ に変更
236	6行目	$v_1 < 0$	$v_{2u} = v_1 < 0$
248	4行目	下が起こる.	下が起こる. μ を 重なり角 と呼ぶ. 従来は文字記号に u が用いられていたが IEC60146-1-1 にならって変更された.
248	(12.18) 左辺	$V_{2u} =$	$V_{2\mu} =$

249	図 12.10	 <p>図 12.10 重なりのあるときの直流出力電圧等価回路</p> <p>V_{2u} 「R」無し</p>	 <p>図 12.10 重なりのあるときの直流出力電圧等価回路</p> <p>$V_{2\mu}$ 「R」を追加</p>
293	下から 6行目	電源と呼ばれる.	電源と呼ぶ.
307	1行目	$V_x = \frac{\sqrt{2}V_1}{\pi} \int_{\alpha}^{\alpha+u} \dots = \frac{\sqrt{2}V_1}{\pi} [\cos\alpha - \cos(\alpha + u)]$ $= \dots$	$V_x = \frac{\sqrt{2}V_1}{\pi} \int_{\alpha}^{\alpha+\mu} \dots = \frac{\sqrt{2}V_1}{\pi} [\cos\alpha - \cos(\alpha + \mu)]$ $= \dots$
307	2行目 式の左	$u =$	$\mu =$
307	4行目 (6)左辺	$V_{2u} =$	$V_{2\mu} =$